

土砂災害の恐ろしさ

岩沼市立岩沼中学校

二年

進藤 しんどう

心海 みほみ

土砂災害についてみほさんは詳しく知って

いますか。土砂災害が恐ろしいのは、一度発生

すると一瞬にして多くの人命や住宅などの財

産を奪ってしまうことなのです。自然災害による

死者や行方不明者のうち、土砂災害によるも

のどは全体の四割を占めているそうです。

土砂災害には土石流、地すべり、がけ崩

れの三つに分類することになります。

まずは土石流についてです。土石流とは一

度にたくさん雨が降ったときに溜まった雨水

が山の土や石などと混ざり、山のふもとから

地域へ一気に流れ落ちることです。平成二十

六年七月九日には木曾川の支流である榊子沢

が豪雨により土石流が発生し、住宅やJR中

央本線の橋梁、国道十九号が被災し死者一

名、全壊十棟の被害が生じたそうです。

次は地すべりについてです。地すべりとは

粘土などのすべりやすい層とその下の岩盤等

との間に地下水が入り込み、その水圧によつて上部の層の土塊が押し上げられたり流動化したリして動き出す現象です。平成十六年八月十日に大塔村清水地区で地すべりが発生し、一般国道百六十八号が崩落しました。これにより通行止めとなり県道高野辻堂線での迂回を余儀なくされたそうです。

最後はがけ崩れについてです。がけ崩れとは急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。雨水ががけにたくさん染み込んだことが原因で起

きたり地震の揺れによつて起きます。平成十三年六月二十日に吉野郡天川村の向枋尾でがけ崩れが発生し、羊塚一棟の被害を受けたりしています。土砂災害がこれほど恐ろしいことを知れよるか、とです。

少しでも土砂災害を防ぐにあたり、砂防堰堤といつてもあります。砂防堰堤とは河川に設置されるダム的一种であり、土石流による土砂災害被害の軽減をするものです。高さは十五メートル未満であることを知れました。

もし土砂災害が発生したときのためにあらかじめ訓練をしておくのが大切です。気を付けておくことは土砂災害ハザードマップを確認し自分の家や仕事場の日常生活の場所を確認するのと、安全に避難できる施設や避難場所を把握するよりによろしく。そして、土石流の場合、土砂の流れる方向に対して直角に逃げ、がけ崩れの場合はすぐに山やがけから離れるよりによろしくを覚えておきましょう。

私は、土砂災害が発生したときの避難訓練の様子をネットで見ました。そこではまず最初にハザードマップを確認していました。その次に避難準備をし、高齢者による避難をしていました。車イスの人たちも優先にしました。

私は、土砂災害についてたくさん調べることができました。一番大切なのは、土砂災害の安全確認や訓練をや、こみでの反省をまとめて次はどう行動すれば良いか話し合っていました。いきました。

とかができました。一番大切は、土砂災害

害の知識を身につけて、危険から身を守るこ
とです。私はエリザベスに遭ったことがあります
せん。自然災害のニュースを見るたびに自分
は正しく判断して冷静に行動することができ
るのかと不安に陥ります。自分でできること
を実行して落ち着いて行動できるようにして
おきたいです。私は今回学んだことを多くの
人に伝えていこうと思います。